



学校便り

ホームページ<http://kanai-es.sado.ed.jp> Eメールkanai-es@sado.ed.jp

佐渡市立金井小学校 令和2年6月26日 第4号

「話をよく聞く（聴く）親」の子どもは学力が高い？

校長 新発田 靖

yahoo ニュース (DAIMOND ONLINE) に、加藤紀子氏による次の記事が載っていました。

脳機能開発が専門の東北大学、川島隆太教授が仙台市に住んでいる7万人の小中高生を2010年から7年にわたり追跡調査したところ、「家の人にしっかり話を聞いてもらった」と答えた子は、学力が上がる傾向が見られました。子どもの話をちゃんと聞いてあげるかどうかは、学力にも影響するようです。

● 子どもの話、どうやって聞けばいい？

アメリカの臨床心理学の大家で、シカゴ大学、ウィスコンシン大学などで教授を務めたカール・ロジャース博士は、アクティブ・リスニング（積極的傾聴）を提唱しました。

ロジャース博士は、自らがカウンセリングを行なった多くの事例から、聴く（傾聴する。心をこめて聞く）側に大切な3つの要素として「①共感的理解」「②無条件の肯定的関心」「③自己一致」を挙げています。

【参考文献】

- ・川島隆太「学力を伸ばすたった一つの親の習慣」（「プレジデント Family」2017 秋号）
- ・「メンタルヘルス教育研修担当者養成研修テキスト」（厚生労働省、中央労働災害防止協会、2010年9月）

小学校では、昔から1年生で「先生、あのね」という作文を書く時間があります。「あのね」に続ける子どもの話をじっくり聴いてあげることが学力面においても大事であることが学会でも認められたということでしょうか。高学年においても、大人においても有効と思われれます。うなずきながらじっくり話を聴くことを大切にしたいものです。

